

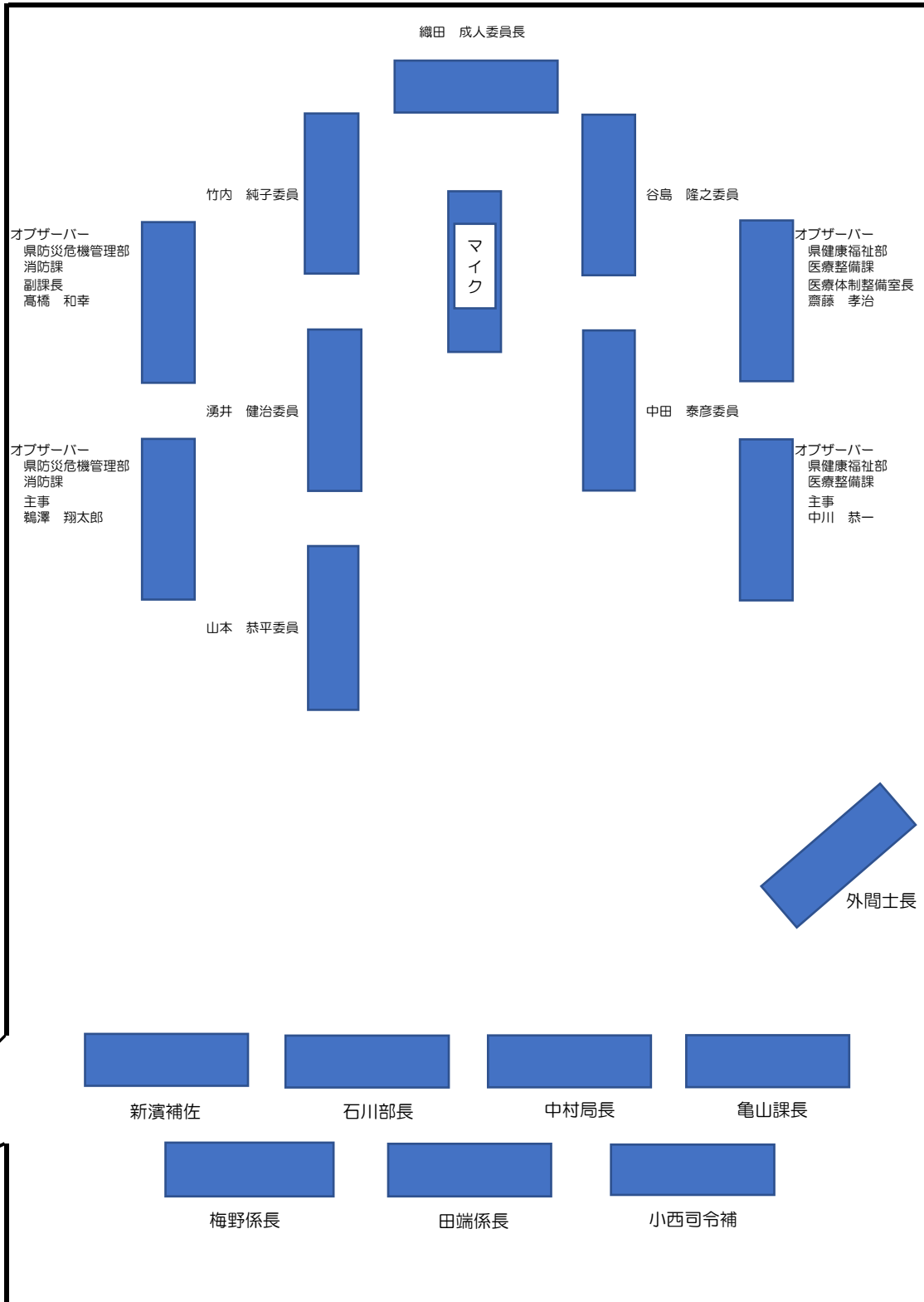
令和3年度第3回千葉市救急業務検討委員会

日時：令和4年2月15日（火）
19時00分～20時30分
場所：千葉市消防局（セーフティーちば）
7階「作戦室」

次 第

- 1 開会
- 2 議事概要報告
「令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会」議事概要
- 3 議題
議題1 救急活動における医療事故調査対策専門部会の名称変更について
議題2 救急活動時の救急救命処置による事故調査・検証報告書について
- 4 報告
報告1 千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について
報告2 令和3年度事業報告について
- 5 その他
令和4年度第1回千葉市救急業務検討委員会の開催予定について
- 6 閉会

令和3年度第3回千葉市救急業務検討委員会席次表



【Web参加】

委員

中田 孝明委員
斎藤 幸雄委員
宮田 昭宏委員
平野 美佐子委員
福田 和正委員
景山 雄介委員
寺井 勝委員
篠崎 啓委員

オブザーバー

市保健福祉局医療政策課 課長 風戸 一彦
市保健福祉局医療政策課 主査 赤岩 威俊
市保健福祉局医療政策課 主任主事 堀内 信和

令和3年度第3回千葉市救急業務検討委員会出席者一覧

【委員】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	千葉市立海浜病院	副院長	織田 成人	来庁
2	千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学	教授	中田 孝明	遠隔
3	千葉大学医学部附属病院	ICU看護師長	竹内 純子	来庁
4	国立病院機構千葉医療センター	病院長	斎藤 幸雄	遠隔
5	千葉県救急医療センター	病院長	宮田 昭宏	遠隔
6	千葉県救急医療センター	看護局長	平野 美佐子	遠隔
7	山王病院	消化器内科部長	谷嶋 隆之	来庁
8	千葉中央メディカルセンター	院 長	福田 和正	遠隔
9	千葉脳神経外科病院	病院長	湧井 健治	来庁
10	千葉メディカルセンター	病院長	景山 雄介	遠隔
11	みつわ台総合病院	病院長	中田 泰彦	来庁
12	千葉市医師会	医療担当理事	篠崎 啓	遠隔
13	千葉市立海浜病院	病院長	寺井 勝	遠隔
14	千葉市立青葉病院	病院長	山本 恭平	来庁

【オブザーバー】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	県健康福祉部医療整備課	医療体制整備室長	齋藤 孝治	来庁
2	県健康福祉部医療整備課	主事	中川 恭一	来庁
3	県防災危機管理部消防課	副課長	高橋 和幸	来庁
4	県防災危機管理部消防課	主事	鶴澤 翔太郎	来庁
5	市保健福祉局医療衛生部医療政策課	課長	風戸 一彦	遠隔
6	市保健福祉局医療衛生部医療政策課	主査	赤岩 威俊	遠隔
7	市保健福祉局医療衛生部医療政策課	主任主事	堀内 信和	遠隔

【事務局】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	消防局	局長	中村 由明	
2	消防局警防部	部長	石川 裕也	
3	消防局警防部救急課	課長	亀山 俊一	
4	消防局警防部救急課	課長補佐	新濱 秀樹	
5	消防局警防部救急課	救急管理係長	梅野 哲郎	
6	消防局警防部救急課	高度化推進係長	田端 隆司	
7	消防局警防部救急課	消防司令補	小西 克宣	
8	消防局警防部救急課	消防士長	外間 浩晃	

令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会

議 事 概 要

1 日 時 令和3年10月13日（水） 19時00分から20時20分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

3 出席者

（1）委員（12人）

織田 成人委員長、中田 孝明委員、竹内 純子委員、斎藤 幸雄委員、宮田 昭宏委員、
平野 美佐子委員、福田 和正委員、湧井 健治委員、景山 雄介委員、中田 泰彦委員、
篠崎 啓委員、寺井 勝委員

（2）事務局

中村局長、石川警防部長、亀山救急課長、新濱救急課長補佐、梅野救急管理係長、
田端高度化推進係長、小西司令補、福島士長、外間士長、藤村士長

（3）オブザーバー

千葉県：高橋副課長（防災危機管理部消防課）
鵜澤主事（防災危機管理部消防課）
齋藤医療体制整備室長（健康福祉部医療整備課）
中川主事（健康福祉部医療整備課）
千葉市：赤岩主査（保健福祉局医療衛生部医療政策課）
堀内主任主事（保健福祉局医療衛生部医療政策課）

4 会議内容

（1）議事概要報告

「令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

（2）議題

議題1 救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会の設置について
ア 事案の概要について
イ 専門部会の設置について

5 議事概要

（1）「令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会」議事概要

令和3年7月8日（木）に開催された令和3年度第1回千葉市救急業務検討委員会の議事概要は、令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会の会議資料として事務局から各委員

宛てに事前配布されていたことから、議事概要に関する疑義、意見等なく了承された。

(2) 議題1 救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会の設置について

ア 事案の概要について

事務局から、令和3年10月3日22時08分覚知の不適切な処置により傷病者の容態が悪化した救急事案について、時系列を基に救急隊への聞き取り内容を交えて説明があった。

イ 専門部会の設置について

事務局から、救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会の設置について、説明があった。審議の結果、千葉市救急業務検討委員会の下部組織として専門部会の設置について承認された。

議題 1

救急活動における医療事故調査対策専門部会の名称変更について

令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会で承認された「救急活動における医療事故調査対策専門部会」の名称変更について、御審議をお願いします。

参考資料

令和3年10月7日付 消防庁救急企画室 事務連絡

「消防機関における救急救命士の行う救急救命処置の事故防止の徹底について」

専門部会の名称変更について

令和3年10月13日（水）開催

令和3年度第2回千葉市救急業務検討委員会で、
「救急活動における医療事故調査対策専門部会」との専門部会名で承認を受けた。

令和3年10月7日付 消防庁救急企画室 事務連絡

「消防機関における救急救命士の行う救急救命処置の事故防止の徹底について」が発出され、表題及び本文において「医療事故」ではなく「救急救命処置の事故」との表現であった。

令和4年1月25日（火）開催

「令和3年度第3回千葉市救急業務検討委員会 救急活動における医療事故調査対策専門部会」で専門部会の名称変更について検討され、変更したほうがよいとの結論となった。

専門部会の名称変更

「救急活動における医療事故調査対策専門部会」



変更

「救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会」

事 務 連 絡

令和 3 年 10 月 7 日

各都道府県消防防災主管部(局) 御中

消防庁救急企画室

消防機関における救急救命士の行う救急救命処置の事故防止の徹底について

救急救命士の行う救急救命処置は、救急救命士法（平成 3 年法律第 36 号）及び関係法令に基づき実施されており、救急救命士制度の円滑な運用については、「救急業務におけるメディカルコントロール体制の充実強化について」（平成 15 年 3 月 26 日付け消防救第 73 号消防庁救急救助課長・医政指発第 0326002 号厚生労働省医政局指導課長通知）等により、都道府県メディカルコントロール協議会及び地域メディカルコントロール協議会の適切な運用を図るよう通知しているところです。

また、救急救命士の行う救急救命処置の事故防止等については、法令を遵守し適切な救急活動を行うよう、「消防機関における救急救命士が行う救急救命処置の事故防止の徹底について」（平成 30 年 5 月 15 日付け消防庁救急企画室長事務連絡）等、従来から通知等を発出し周知してきたところです。

しかしながら、今般、千葉県千葉市において、救急救命士が心肺機能停止前の傷病者に対し、医師の指示の下、薬剤（アドレナリン）投与を行った重大な事案が発生しました。

つきましては、関係法令、通知、事務連絡及び各種プロトコール等の再確認を行い、法令遵守及び事故防止の徹底を図るよう、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）並びに都道府県メディカルコントロール協議会及び地域メディカルコントロール協議会に対し、この旨周知徹底されるようお願いいたします。

【問合せ先】

消防庁救急企画室

小塩救急専門官、久保田係長、小淵事務官

T E L : 03-5253-7529

F A X : 03-5253-7532

E-mail : kyukyusuishin@soumu.go.jp

報告 1

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」について

千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」に係る現状等について報告するものです。

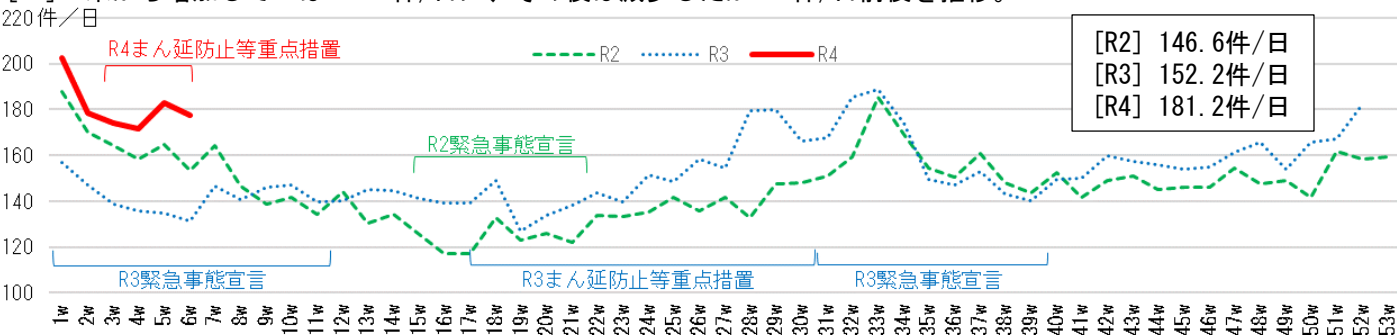
千葉県「搬送困難事例受入医療機関支援事業」に係るデータ比較 (R2~4)

※R3以降は速報値。R4は2/13 (6w末) 現在。

R4. 2. 15 : 消防局警防部救急課

1 出動件数

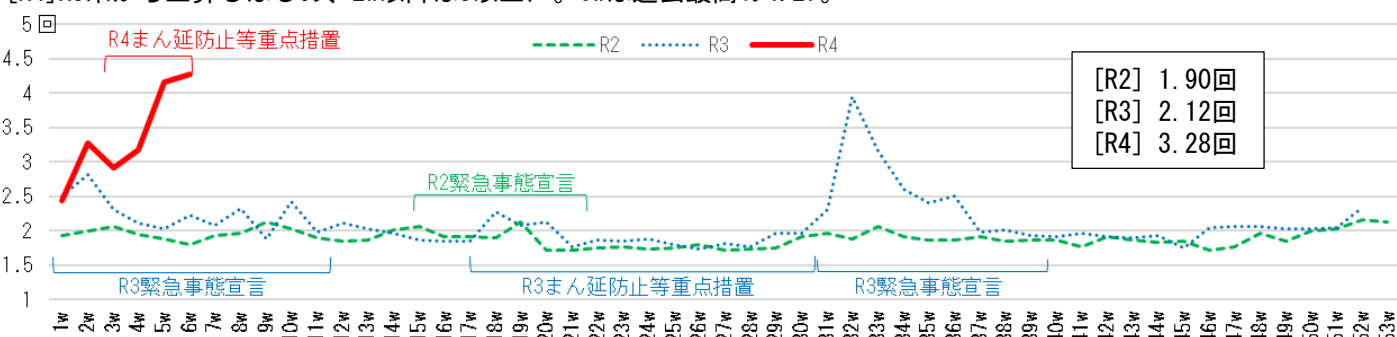
[R2] 緊急事態宣言 (4/7~5/25) で120件/日に減少。夏季は例年どおりに増加。以降年末まで150件/日程度を推移。
 [R3] 年初から140件/日を推移するも、24wから150件/日、28wから180件/日と急増。その後はR2と同様に推移。
 [R4] R3末から増加して1wは202.7件/日に、その後は減少したが180件/日前後を推移。



2 平均照会回数

※転院搬送、家族等連絡済みのものを除外して算出している。

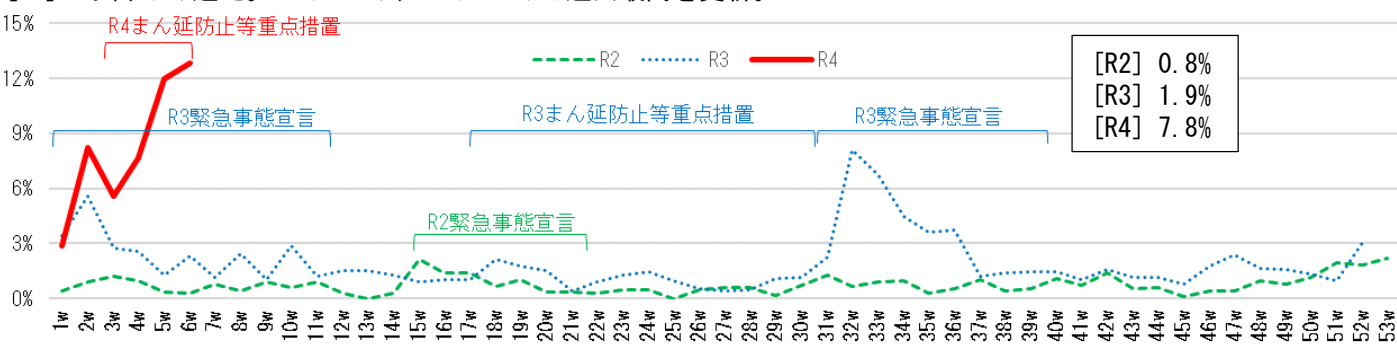
[R2] GWまでは1.8~2.1を推移。その後は夏季・冬季が2.0程度、これ以外が1.7程度を推移。
 [R3] 年初の緊急事態宣言 (1/8~3/21) の初期は2.3~2.8となったが、その後は2.0程度を推移。
 しかし、2度目の宣言 (8/2~9/30) 下では、3.94まで上昇。宣言解除後は1.9~2.0を推移。
 [R4] R3末から上昇しはじめ、2w以降は3以上に。6wは過去最高の4.27。



3 照会10回以上の割合

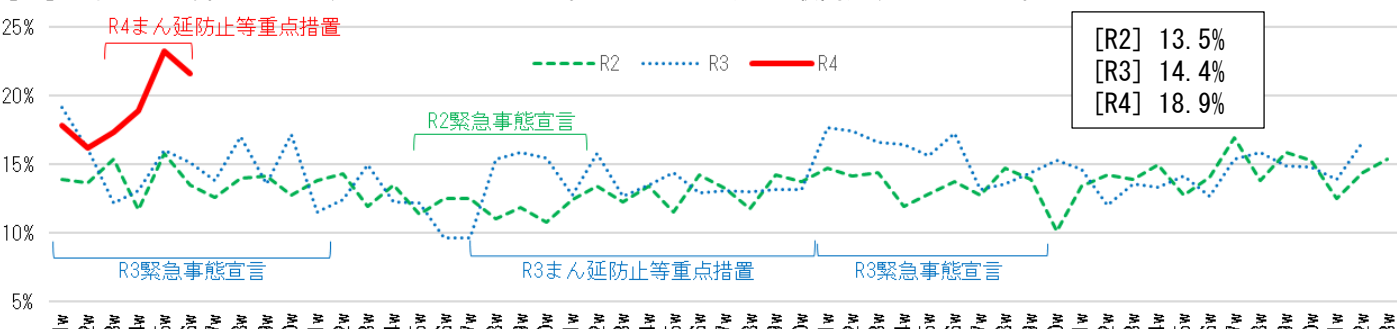
※転院搬送、家族等連絡済みのものを除外して算出している。

[R2] 緊急事態宣言中は、最高で2.1%となったが、年間を通じてほぼ1%未満を推移。
 [R3] 年初の緊急事態宣言で5.6% (2w)、2度目の宣言で8.1% (32w) を記録。通年で1%台を推移。
 [R4] 2w以降は5%超え。5wは11.9%、6wは12.9%と過去最高を更新。



4 市外搬送の割合

[R2] 緊急事態下を含めほぼ11~14%を推移。
 [R3] 年初の緊急事態宣言で19.1% (1w)。2度目の宣言下は15~17%程度に上昇。これ以外は13~15%を推移。
 [R4] R3末から上昇しはじめ、1~4wは16~18%に。5wは23.3% (過去最高)、6wは21.6%。



「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める
受入医療機関確保基準の運用に関する意見書

【医療機関名】

千葉医療センター

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ <u>意見なし</u></p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>【意見がある場合には、御記入ください。】</p>	

「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める
受入医療機関確保基準の運用に関する意見書

【医療機関名】

千葉中央メディカルセンター

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>【意見がある場合には、御記入ください。】</p>	<p>運用に関しては特に意見はありません。皆さんのお役に立てているとは言えない状況が続き申し訳ないと思っております。</p> <p>一般的な意見としてですが、本事業の目指すところが搬送時間の短縮や照会回数の低下である限りは、救急医療全体の改善にはつながらないような気がしています。1人の中等・重症の患者を受け入れ3人の軽症患者を断るのと、3人の軽症患者を受け入れ1人の中等・重症の患者を断るのでは、後者のほうが数字はよくなります。ゴールは、「適切な救急診療を提供すること」でなければ、病院スタッフの協力を得るのは難しくなります。</p> <p>緊急性と重症度の問題も同様です。介護度の高い高齢者の慢性疾患増悪は重症度が高いかもしれませんが、十分な診療情報を携えて日勤帯に要請してもらったほうが受け入れは容易ですし、適切な診療が出来ると思います。</p> <p>医療機関の容量が急に大きくなるわけではありませんので、そろそろ救急要請する側に対しても何等かのアクションが必要かと感じています。私たちは新型コロナで十分学習したはずですが…。</p>

「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める
受入医療機関確保基準の運用に関する意見書

【医療機関名】

医療法人社団 創進会
みつわ台総合病院

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める 受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>【意見がある場合には、 御記入ください。】</p>	

「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める
受入医療機関確保基準の運用に関する意見書

【医療機関名】

千葉市立海浜病院

意見の有無	<p>「千葉県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」に定める 受入医療機関確保基準の運用について、</p> <p>意見あり ・ 意見なし</p> <p>(いずれかを○でお囲みください。)</p>
<p>意見内容</p> <p>【意見がある場合には、 御記入ください。】</p>	

令和3年度事業報告について

令和3年度の事業（委員会、専門部会、事後検証、指示・指導及び助言、教育）について報告するものです。

千葉市救急業務検討委員会及び専門部会の開催状況（令和3年度）

千葉市救急業務検討委員会

	開催日	議 題	報 告
第1回	令和3年 7月 8日（木）	1 救急搬送体制に関する専門部会の設置について	1 千葉県搬送困難事業受入医療機関支援事業について 2 救急車受入協力一次医療機関リストの作成について 3 新型コロナウイルスワクチン接種による救急搬送について 4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催期間中の救急対応について
第2回	令和3年 10月13日（水）	1 救急活動における医療事故調査対策専門部会の設置について (1) 事案の概要について (2) 専門部会の設置について	
第3回	令和4年 2月15日（火）	1 救急活動における医療事故調査対策専門部会の名称変更について 2 救急活動時の救急救命処置による事故調査・検証報告書について	1 千葉県搬送困難事例受入医療機関支援事業について 2 令和3年度事業報告について

救急搬送体制に関する専門部会

	開催日	議 題
第1回	令和3年 10月 7日（木）	1 部会長の選出及び職務代理者の指名等について 2 議事録の確定方法について 3 救急搬送体制に関する課題抽出及び検討について
	令和3年 10月11日（月）	

第2回は令和4年3月に実施予定

専門部会員

	所属	役職	氏名	
1	千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学	教授	中田 孝明	専門部会長
2	千葉県救急医療センター	麻酔科部長	稲葉 晋	
3	千葉中央メディカルセンター	救急科医長	本島 卓幸	
4	みつわ台総合病院	救急室室長	宮崎 晃行	
5	千葉市立青葉病院	救急集中治療科部長	高橋 和香	
6	千葉市立海浜病院	主任医長	本間 洋輔	
7	国立千葉医療センター	救急部部长	河野 慶一	
8	千葉メディカルセンター	副院長	平山 次郎	

指令管制に関する専門部会

令和4年3月に書面にて開催予定

救急活動時の救急救命処置による事故調査対策専門部会

	開催日	議 題
第1回	令和3年 10月26日（火）	1 部会長の選出及び職務代理者の指名について 2 議事録の確定方法について 3 救急活動における不適切な処置により傷病者の容体が悪化した事案の調査・検証について
第2回	令和3年 12月 1日（水） （書面開催）	1 報告書素案の検証について
第3回	令和4年 1月25日（火）	1 救急活動時の救急救命処置による事故調査・検証報告書について

事後検証の実施状況（令和3年中）

救急活動の事後検証

検証対象区分別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
目撃あり且つバイスタンダー処置があった症例	22件	19件	15件	25件
除細動・アドレナリン投与・気管挿管施行症例	68件	58件	36件	29件
外傷症例のうち意識レベルがJCS100以上又はショックの症例	9件	18件	11件	5件
心肺停止前の静脈路確保及び輸液施行症例	17件	7件	6件	8件
ブドウ糖溶液投与施行症例	12件	1件	4件	4件
医師が要検証と判定した症例	20件	20件	8件	8件
救急隊員が要検証と判断した症例	9件	17件	6件	5件
ヘリコプターによる救急活動症例	4件	4件	4件	3件
社会的影響が高いと認められる症例	1件	0件	1件	0件
所管課が検証を必要と認めた症例	0件	0件	0件	0件
計	162件	144件	91件	87件

二次検証医療機関別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
千葉大学医学部附属病院	73件	75件	52件	49件
千葉県救急医療センター	42件	32件	12件	16件
国立病院機構千葉医療センター	5件	2件	1件	1件
千葉メディカルセンター	4件	1件	0件	1件
千葉中央メディカルセンター	7件	1件	2件	2件
千葉脳神経外科病院	0件	0件	0件	0件
みつわ台総合病院	2件	3件	3件	2件
千葉市立海浜病院	0件	5件	3件	7件
千葉市立青葉病院	29件	25件	18件	9件
計	162件	144件	91件	87件

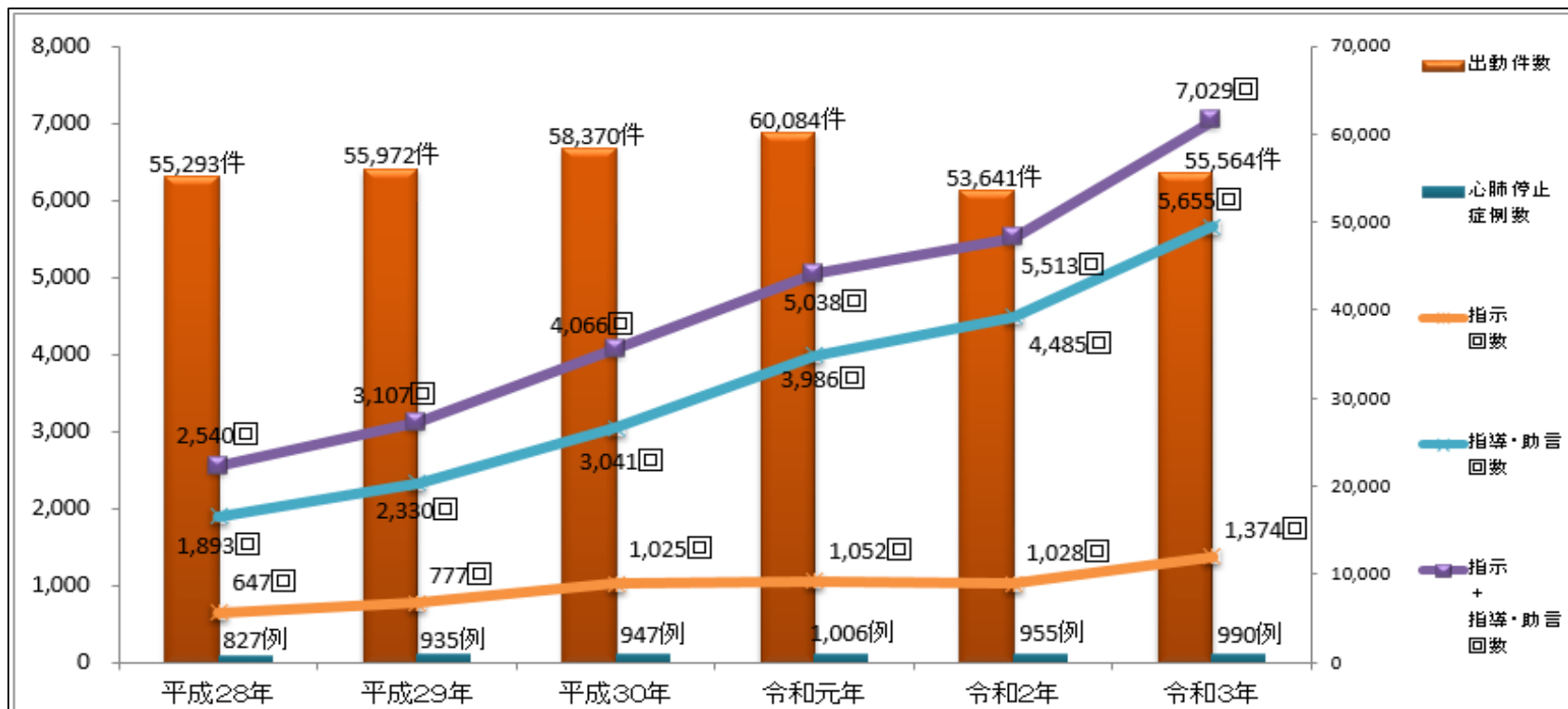
口頭指導の事後検証

検証対象区分別	令和3年
通報時に心肺停止として認識できなかった事例	11件
搬送先医療機関の医師が要検証とした事例	1件
指令管制員が要検証とした事例	0件
救急隊員が要検証とした事例	0件
計	12件

二次検証医療機関別	令和3年
千葉大学医学部附属病院	8件
千葉県救急医療センター	3件
みつわ台総合病院	0件
千葉市立青葉病院	1件
あかいし脳神経外科クリニック	0件
計	12件

（令和3年4月～12月）

指示・指導及び助言の実施状況（令和3年中）



	指示回数	前年比	指導・助言回数	前年比	指示+指導・助言回数	前年比	出動件数	前年比	心肺停止症例数	前年比
平成29年	777回	20.1%	2,330回	23.1%	3,107回	22.3%	55,972件	1.2%	935例	13.1%
平成30年	1,025回	31.9%	3,041回	30.5%	4,066回	30.9%	58,370件	4.3%	954例	2.0%
令和元年	1,052回	2.6%	3,986回	31.1%	5,038回	23.9%	60,084件	2.9%	1,006例	5.5%
令和2年	1,028回	-2.3%	4,485回	12.5%	5,513回	9.4%	53,641件	-10.7%	955例	-5.1%
令和3年	1,374回	33.7%	5,655回	26.1%	7,029回	27.5%	55,564件	3.6%	990例	3.7%

令和3年

	指示	指導・助言	医療機関 交渉	合計
昼間帯	721回	2,872回	0回	3,593回
夜間帯	653回	2,783回	0回	3,436回
合計	1,374回	5,655回	0回	7,029回
1日平均	3.8回	15.5回	0回	19.3回

※ 昼間帯は8時00分から18時30分まで、
夜間帯は18時30分から翌日8時00分まで
※ 「指導・助言」には、「報告」を含む。

まとめ

- 「救急救命処置に対する指示回数」は、1,374回（1日平均3.8回）であり、前年と比較すると33.7%増加
- 「指導・助言回数（報告含む）」は、5,655回（1日平均12.3回）であり、前年と比較すると12.5%増加



昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大や特定行為の施行件数が増加したこと等の理由から、指示回数、指導・助言回数が増加したと考えられる。

救急隊員教育の実施状況（令和3年度中）

令和4年1月末現在
※ 各実習の実習者数については、
今年度内に実習修了予定の者を含む。

救急救命士就業前病院研修

- 実施期間
令和3年5月25日（火）から7月2日（金）まで
- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、千葉県救急医療センター、
青葉病院WS
- 研修者数
7人
〔うち、令和2年度救急救命士免許取得者：4人
平成29年度救急救命士免許取得者：1人※
平成30年度救急救命士免許取得者：2人〕
※救助隊員として従事している

再教育病院実習

- 実施場所
・救急救命士：千葉大学医学部附属病院、千葉中央メディカルセンター、
みつわ台総合病院、青葉病院WS
- ・救急救命士以外の救急隊員：青葉病院WS
- 実習者数
・救急救命士：120人
〔うち、千葉大学医学部附属病院：40人（うち14人出向停止中）
みつわ台総合病院：7人
千葉中央メディカルセンター：7人
青葉病院WS：65人（うち22人出向停止中）〕
- ・救急救命士以外の救急隊員：99人（うち33人出向停止中）

気管挿管病院実習

- 実施場所
千葉大学医学部附属病院
みつわ台総合病院
- 実習者数
4人

AWS病院実習

- 実施場所
千葉大学医学部附属病院、みつわ台総合病院
- 実習者数
8人（予定）
※現在、新型コロナウイルス感染症拡大のため研修停止

アドレナリン投与病院実習

- 実施場所
青葉病院WS、千葉県救急医療センター
- 実習者数
7人（就業前病院実習を含む）

各認定取得状況

- ・気管挿管認定・・・・・・・・ 4人
- ・AWS認定・・・・・・・・ 0人
- ・アドレナリン投与認定・・・ 7人
- ・処置範囲拡大二行為認定・・・ 7人

※ 前年度に実習等を受け今年度に認定を取得した者を含む。



現数

- 全救急救命士数・・・・・・・・ 207人（うち、従事者135人）
- 気管挿管認定・・・・・・・・ 112人（うち、従事者 78人）
- AWS認定・・・・・・・・ 92人（うち、従事者 67人）
- アドレナリン投与認定・・・ 183人（うち、従事者135人）
- 処置範囲拡大二行為認定・・・ 175人（うち、従事者135人）